

「国際都市おおた」の取組みについて

1 「国際都市おおた大使」の「大田区総合防災訓練（風水害編）」参加について

国際都市おおた大使5名が、令和元年の台風19号を契機に開設することとなった水害時緊急避難場所への避難を想定した防災訓練に初めて参加。

今回の訓練では、危機が迫った際に最善の行動をするための基礎知識を身に付けることを目的に、新型コロナウイルス感染症の影響下において、避難者役となって検温や消毒を行う等の受付方法や避難経路を確認し、訓練後には振り返りを行った。

参加した大使からは、「地域が一丸となって、災害に備えているのは素晴らしい。」「今日の参加で防災訓練の大切さをさらに実感した。」などの感想が寄せられた。

外国人の視点から様々な気づきや意見をいただくことで、今後、外国人区民を避難場所に受け入れる際の課題解決に活かしていく予定。

実施日：令和2年11月15日（日）午前9時～12時

参加者：5名4か国出身（アメリカ、インドネシア、韓国、ベトナム）

場 所：大田区立志茂田小学校（西六郷1-4-2）



受付で検温を実施する様子



受付の様子



訓練後に振り返りを行う様子



訓練に参加した大使と国際交流員

2 「国際都市おおた協会」の事業実施状況について

(1) 日本語講座「学校プリントを読もう」

※ 今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、「教室に通う対面式」もしくは「WEB 会議システム」かどちらかの受講形態を選べるハイブリッド形式とした。

小・中学生の子どもを持つ外国人保護者を対象に、学校配布のプリントが読める日本語力をつけることを目的とした日本語講座「学校プリントを読もう」を開講している。

この講座は、国際都市おおた協会の多言語相談窓口到学校からのプリントが読めないため、代わりに読んで欲しいとの声が数多く寄せられたことから、こうした悩みを少しでも解消できるよう、平成30年度から毎年講座として実施している。

前年度の参加者からは、「よく見る漢字はあったけれど、受講前はその漢字の『読み方』と『意味』が分からなかった。でも、講座を受けてから、すごく自信がついた。」「色々な学校の便りを読んだり、漢字を学んだりして、すごく勉強になった。」などの感想が寄せられている。

日時：令和2年11月4日、11日、18日、25日、12月2日（毎週水曜日）

全5回 午後6時30分～午後8時30分

場所：消費者生活センター 第5会議室

受講料：無料

受講人数：16名（対面式：8名、WEB会議システム：8名）

受講対象者：大田区在住・在勤・在学の小・中学生の子どもを持つ保護者
ひらがな・カタカナは習得済みで、日本語で会話はできるが、漢字が読めない方

学習の主な内容

- ・学校特有の単語の読み方、意味
- ・「年間行事予定表」の読み方
- ・「学年だより」の読み方
- ・「各行事のプリント」の読み方 など



対面式でプリントの読み方を習う受講者



講師によるWEB会議システム講義